

平成28年度 九州大学大学院経済学府修士課程入学試験問題(一般選抜)

ミクロ経済学

次の2問の中から1問を選択し解答しなさい。

問1

- (1) スルツキー方程式を図を使って説明しなさい。
- (2) 「所得が増加したときにある財の消費が減らなければ、価格が上昇したときにはその財の消費は必ず減る」という命題の真偽を理由を付して説明しなさい。

問2 消費者 A, B と財 1, 2 から成る経済を考える。財 1, 2 の消費量を x_1, x_2 とおくと、 A, B の効用関数がそれぞれ $U^A(x_1, x_2) = x_2\sqrt{x_1}$, $U^B(x_1, x_2) = x_1\sqrt{x_2}$ であるとする。また財 1, 2 の初期賦存量が共に 10 であるとき、次の問に答えなさい。

- (1) 配分 $(x_1^A, x_2^A) = (2, 5)$, $(x_1^B, x_2^B) = (8, 5)$ がパレート最適であることを示しなさい。
- (2) この経済を表すエッジワース・ボックスを図示し、その中に契約曲線の概形を描きなさい。
- (3) 2 人の初期保有量が $(e_1^A, e_2^A) = (4, 4)$, $(e_1^B, e_2^B) = (6, 6)$ であるとき、(1) の配分がコアに属するかどうかを判定しなさい。